

巻 頭 言

城西大学学長 藤 野 陽 三

城西大学は1965年に創立されて以来、今日まで坂戸市けやき台にキャンパスを構えてきました。今でも、当時の風景から恐らくさほど変わっていない長閑（のどか）な環境の中にあるのはいろいろな意味でとても嬉しいことです。コロナ禍の中であっての城西大学ではキャンパス内、通学路の中で感染した学生、職員がこれまで皆無でしたが、これも立地が影響しているのだと思っています。都心の大学とは違うと言えるでしょう。

城西大学は埼玉県西部にあります。そこには100万人を越える方々が住み、様々な生産活動を営まれていることは勿論ですが、商業、運輸、医療、教育、建設等々様々な活動が日々行われています。そこにはいろいろな問題、課題があり、関係者はその改善に向けて励んでおられます。大学にとっての地域連携とは正しく、地域の生きた問題、課題をじかに知り、研究教育に生かすことだと思います。そういう意味では地域あつての大学であり、地域に育ていただき、大学がそして学生が育つのです。我々の立場から城西大学の知を活かしての地域連携の中で地域の振興に少しでもお役に立ち、その中で学生が地域の方々と活動し成長する、このようなウィンウィン（win-win）の関係が築かれることを祈念しています。

城西大学は2016年に地域連携センターを開設し、いつでも皆様からの声をお待ちしています。遠慮なく、気兼ねなく、おいでください。皆様からの依頼に待っているだけではないとも思っています。我々大学人がもっと地域の中に入って、新しい地域連携を始めたいと思っています。よろしく願いいたします。